


様式第10号(第6条関係)



令和2年 4月 10日

南相馬市議会議長

会派名 無会派
代表者名 文山弘一 

令和元年度政務活動費収支報告書

南相馬市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定に基づき、別紙のとおり、令和元年度政務活動費収支報告書を提出します。

別紙

令和元年度政務活動費収支報告書

会派名 無会派

1 収入

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|-----------|---------|-----|
| 政 務 活 動 費 | 180,000 | |
| 預 金 利 子 | 0 | |
| 会 派 負 担 金 | 0 | |
| 合 計 | 180,000 | |

2 支出

(単位：円)

| 項 目 | 金 額 | 備 考 |
|----------|---------|---------------|
| 調査研究費 | | |
| 研修費 | 41,220 | 研修(2/5~7 千葉県) |
| 広報費 | 137,280 | 政務報告書印刷、折込代 |
| 広聴費 | | |
| 要請・陳情活動費 | | |
| 会議費 | | |
| 資料作成費 | | |
| 資料購入費 | | |
| 人件費 | | |
| 事務所費 | | |
| 合 計 | 178,500 | |

(注) 1 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

2 会計帳簿の写し及び領収書等の証拠書類の写しを添付すること。

3 残金

1,500 円

令和元年度 政務活動費 会計帳簿

会派名 ~~無会派~~ 大山弘一

| 年月日 | 摘要 | 収入 | 支出 | 残高 |
|--------|-------------------------|---------|---------|---------|
| 元 5 7 | 政務活動費 | 180,000 | | |
| 又 2 5 | 研修費(2/5~7 千葉市内研修セミナー受講) | | 41,220 | 138,780 |
| 又 3 30 | 政務報告書印刷、折込代 | | 137,280 | 1,500 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | 180,000 | 178,500 | 1,500 |

政務活動費 旅費領収明細表

無会派 大山弘一 (単位 円)

| 支出内容 | 令和2年2月5日～2月7日 (研修先:千葉市 地方創生EXPO視察、セミナー受講) (観光・インバウンド支援、移住・定住促進 他) | | | | | | |
|-------|--|--------|---|--------|---|--|---|
| | 氏名 | 旅費内訳 | | その他 | 合計 | 受領印 | 摘要 |
| 運賃等 | | 宿泊料 | | | | | |
| 大山 弘一 | 11,620 | 29,600 | | 41,220 |  | ①運賃 高速バス代往復 (南相馬市⇄東京駅) 8,200円 JR運賃 (東京駅⇄海浜幕張 駅) @570円×2(往復)×3 日=3,420円 ※宿泊場所最寄駅:東京 駅 | 領収書No.1(高速バス 代分) (JR運賃について は領収書不要) |
| | | | | | | ②宿泊料(東京都内: 甲地方)14,800円×2泊 ⇒②宿泊料は、南相馬 市職員等の旅費に関す る条例・規則に基づき 定額支給 | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| 計 | 11,620 | 29,600 | 0 | 41,220 | | | |

領収書等添付用紙

(単位:円)

| | | |
|------|---|-----------------------------------|
| 支出項目 | <input type="checkbox"/> 調査研究費 | <input type="checkbox"/> 会議費 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 研修費 | <input type="checkbox"/> 資料作成・購入費 |
| | <input type="checkbox"/> 広報・公聴費 | <input type="checkbox"/> 人件費・事務所費 |
| | <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 | |
| 支出内容 | 研修(令和2年2月5日~7日 千葉市 地方創生EXPO視察、セミナー受講)に係る高速バス代 | |
| 支出月日 | 令和2年1月7日 | |
| 支出額 | 8,200円 | |

領収書 No. 1

南相馬バスターミナル1号機
No.01.12639297

領 収 書

大山 弘一 様

金額 ￥8,200

(消費税を含んでいます)

但し、高速バス代として

上記の金額を領収しました。

2020年01月07日



担当:



東北アクセス株式会社
南相馬バスターミナル
福島県南相馬市原町区深野字庚塚346-1

0244-23-2964

※注意: 高熱や日光に長時間当てないでください

領収書等添付用紙

(単位:円)

| | | |
|------|--|-----------------------------------|
| 支出項目 | <input type="checkbox"/> 調査研究費 | <input type="checkbox"/> 会議費 |
| | <input type="checkbox"/> 研修費 | <input type="checkbox"/> 資料作成・購入費 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 広報・公聴費 | <input type="checkbox"/> 人件費・事務所費 |
| | <input type="checkbox"/> 要請・陳情活動費 | |
| | | |
| 支出内容 | 政務報告書印刷、折込代 | |
| 支出月日 | 令和2年3月30日 | |
| 支出額 | 137,280円 | |
| | | |

領 収 証

No.

大山 弘一 様

令和 2 年 3 月 30 日

| | | |
|----|-------------|----------------|
| 金額 | ¥ 137,280 - | 内訳 |
| | | 政務報告書印刷 折込代 |

上記の金額正に領収いたしました



〒975-0003
福島県南相馬市原町区栄町一丁目8番地
有限会社 愛原印刷所
代表取締役 愛原 利昌

TEL (0244) 23 - 2068 · FAX (0244) 23 - 2233



検証【小児甲状腺癌多発】

現在公表数だけでも 237 人

- ・リンパ節転移 72%
- ・外膜浸潤 47%
- ・肺転移 2人以上
- ・手術後再発 12人

「過剰診断ではなく摘出手術が必要な状態。今後も継続するが放射線影響ではない。」と鈴木真一外科部長。



ウクライナの病院視察

放射性粒子の吸引危険
山林は野放しの最終処分場

**大山こういちの
政務報告**

原町区馬場字大谷地82
携帯080-3193-4960
FAX0244-32-0590

●小児甲状腺がん「多発」は確実となっている。医大は「大規模調査のため多く発見」と「手法」のせいにし、今度は「一生、悪さをしないガンだから検査をやめるべき」と言い出した。

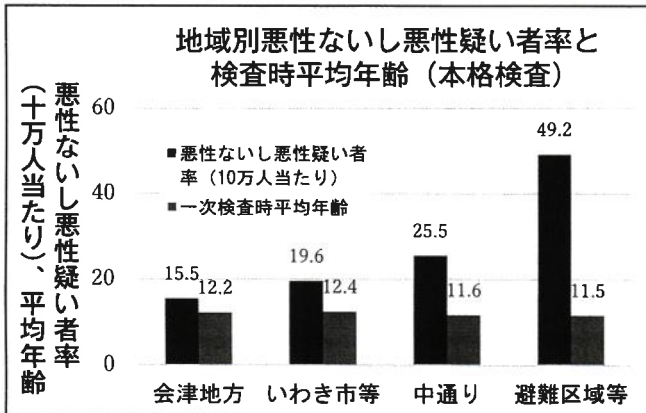
御用医者やマスコミが言えない 特集：「小児甲状腺がん調査」の闇

チェルノブイリ原発事故後の小児甲状腺がんが多発をうけ、原発推進の内閣府と経産省の原予算で始まった。

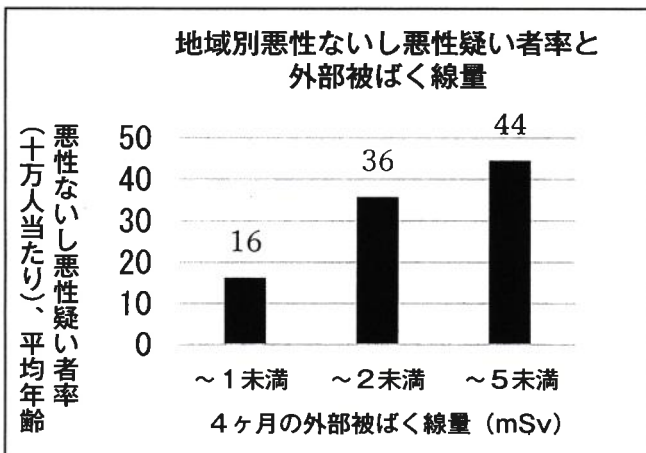
2千億円30年計画の調査だが、チェルノブイリで健康被害をWHOが認めたのは、疫学統計的に事故影響を受けた発症者の実数を把握し、事故後の新生児の発症と比較した20年後。その時には既に4千人以上の摘出手術と数十名の尊い命が失われており、早期発見、早期対応が重要であることは言うまでもない。しかし、県立医大の調査は、「実数を把握せず、新生児は調べない仕組み」になっており、この巨大プロジェクトの「方法」が「放射線影響有無を決定づける」設計になっていない。地域ごとの実数を調べれば否応なく結果が出るのだが…。

真実を封印する壮大なカラクリなのではないか？

1. 地域差があります



2. 甲状腺がん患者は外部被曝量が高い



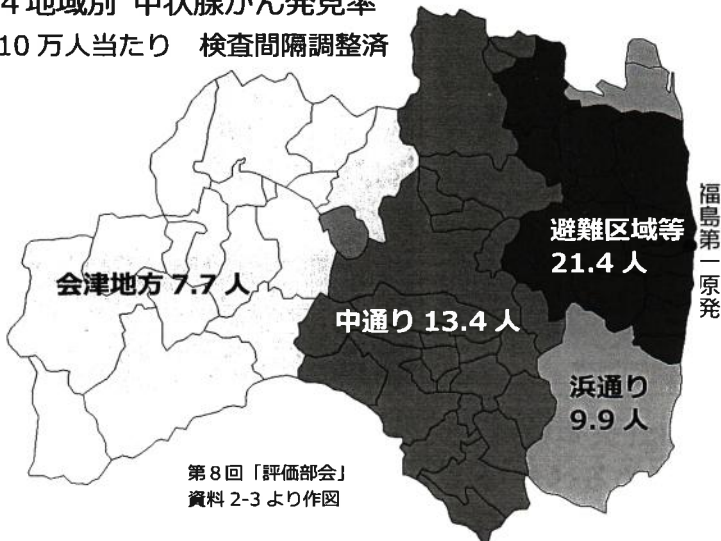
○当初、1回目検査で事故前の潜在発症者を取り除くとして「先行検査」、2回目以降を「本格検査」と名付け、比較予定だったが、1回目で116人、約2年後に同じ検査方法で2回目で71人(内65人は一回目に問題なしとされた子ども)以上を見つけてしまった。

1. 左のグラフで、4地区平均年齢は殆ど同じだが、悪性ないし疑い者に地域差が生じている。

「被曝量・地域・発生数」など計画通り比較をしてしまうと「多発」を認めざるを得なくなるためか、医大は比較をやめてしまった。

2. がん又は疑いとなった子供たちの数は、外部被曝量(左グラフ)及び、放射能雲がもたらした吸引被爆や放射性降下物による汚染(次ページ地図)と相関しており、被曝影響が疑われるが、医大は「放射線影響なし」と原子力村とも言われる「国連科学委員会」の推計だけを引用しまとめた。が、未だにその詳細なデータ、計算式が公開されていない。

4 地域別 甲状腺がん発見率
10万人当たり 検査間隔調整済



南相馬市では5年前の公表(以後市町村名は広報されない)で6人が小児甲状腺ガン、要経過観察者などハイリスク者は100人以上いるとみられ、追跡調査しない仕組みで発見が遅れ、症状悪化が心配されます。

3.「甲状腺がん」の場合、通常女性が格段に高いのが特徴ですが、放射線被害特有の男女比の差が無くなる状況が見て取れます。

4. 原発事故から1年半のち、第8回まで約8万人を調べて初めて1人発見し、その後、回を重ねるごとに発見率が増え、やがて8万人に40人程とうなぎ登りに。「発見率」が増えていく原因①「起因」の存在があるようです。「大規模調査で発見が増えた」自然発生なら最初から発見率は一定のはずがグラフは右肩上がり。②潜伏期と発生期が見て取れ、③この後も発生率が高まっていくと推察されます。

○「一生放置しても悪さをしないガンだ」などという向きもありますが摘出しなければならぬ転移、浸潤、再発という進行が早いガンであり、受診率が下がっていることが懸念されます。

その他:放射能影響が簡単に解る方法

原発事故年の2011年、既に放射線影響が決定論敵に解る「7q11」ゲノム解析法!

チェルノブイリ事故後、ドイツで発見され、アメリカ学士院開会報で世界の大学、研究機関に発表されていた。

南相馬市環境回復推進員長 児玉龍彦東大教授は、記者会見まで開き広く伝えたが、未だに行政は黙殺。御用学者たちは決して触れない真実。

【検索】

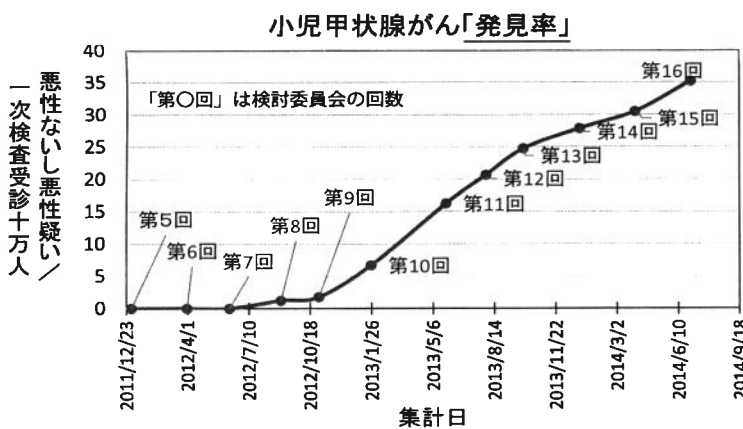
- ・児玉龍彦教授「放射線と健康、そして除染こどもと妊婦を守るために」
- ・「遺伝子の特定箇所の切断でがん発症」
2/7 7分～ youtu.be/OttiK1-IFOU
- ・内部被曝の真実と尿検査「低線量被曝でも危険」
https://www.youtube.com/watch?v=hnh_ogQe47s

3. 男女比が自然発生の場合と違います

甲状腺がんの男女比*

| | 自然発生 | 原発事故後 |
|-----------------|-------|-------|
| ベラルーシ(検査時18歳以下) | 1:3.7 | 1:1.8 |
| 日本(福島・本格検査) | 1:4.8 | 1:1.2 |

4. 被曝後の潜伏期間は凡そ1年半



以上の資料は、放射線被曝を学習する会
<http://anti-hibaku.cocolog-nifty.com/blog/>

まとめ

甲状腺ガン多発が明らかになっている。

「森友問題」同様に既得権益を持った体制による隠蔽、偽装、誘導がこの歴史的事故の健康被害を封殺する上意下達の指示が出ているのだろうか。

その中で焼け太り、出世していく医者や学者がいる。余所から来て無責任な安全デマと的外しによる健康被害の発見が遅れる「洗脳被害」が大問題。

「25歳節目検査」では千人に一人が甲状腺ガンを発見されているが、受診率が落ち込み重篤化するケースが危惧される。まずは早期発見を!